

# 試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：ビワの新品種「涼峰」、「麗月」の品種特性			
<p>[要約]</p> <p>「涼峰」は早熟、大果で、果肉が軟らかく、甘味が強く、良食味な品種である。「麗月」は早熟で、果皮、果肉が黄白で、果肉が緻密でかつ柔軟で、甘味が強く、良食味な品種である。いずれの品種も施設栽培によりその能力を十分に発揮でき、観光果樹に適する品種として有望である。</p>			
フリーキーワード ビワ、品種、涼峰、麗月			
<p>実施機関名 主 査 農業総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室</p> <p>協力機関 (独)農業技術研究機構果樹研究所、長崎県果樹試験場</p> <p>実施期間 1996年度～2004年度</p>			

## [目的及び背景]

長崎県果樹試験場育成(国の指定試験)系統の中から本県の気象及び土壌条件に適する系統を選定するため、1996年から第2回系統適応性検定試験で「長崎6～11号」の6系統を供試し、特性検定を行ってきた。独立行政法人・果樹研究所主催の常緑果樹系統適応性検定試験検討会議で、2004年に「長崎6号」、2001年に「長崎7号」が品質が優良と認められ、品種登録申請される。

## [成果内容]

### 1 「涼峰」の特性

「長崎6号」は1974年に「楠」を母親とし、「茂木」を交配した交雑実生で、2005年9月20日に品種名「涼峰」として命名発表され、現在品種登録申請中である。

#### (1)「涼峰」の露地栽培における特性

樹姿は直立性で樹勢は強である。熟期は6月上旬で対照品種の「房光」、「涼風」及び「陽玉」より早い。果形は短卵、果重は61gで「涼風」及び「房光」より小さいが、「陽玉」より大きい。赤味の濃い果皮色が特徴である(表1)。対照品種より糖度が高く、酸含量は低く、食味は良好である。「房光」、「涼風」及び「陽玉」に比べそばかす、裂果、紫斑の発生が多くみられる。果実の耐寒性は「房光」より弱い(表2)。

#### (2)「涼峰」の施設栽培における特性

熟期は5月上旬で「房光」及び「富房」より早い。果形は短卵、果重は61gで「房光」及び「富房」より小さい。赤味の濃い果皮色が特徴である(表1)。果肉は軟らかく、食味は良好である。対照品種よりそばかす、裂果及び紫斑の発生が多くみられる(表2)。

### 2 「麗月」の施設栽培における特性

「長崎7号」は1976年に「森尾早生」を母親とし、「広東」(中国からの導入品種)を交配した交雑実生で、2002年9月3日に品種名「麗月」として命名発表され、2005年3月23日に品種登録される。

樹姿は直立性で樹勢は強である。熟期は5月上旬で「房光」及び「富房」より早い。果形は扁円、果重は52gで「房光」及び「富房」より小さい。果皮色は黄白で熟期の判定が難しい(表1)。また果肉色も黄白で特徴がある。果肉は軟らかく、糖度が高く食味は良好である。果実の障害はほとんどみられず、「房光」及び「富房」と同等にきれいである(表2)。

## [留意事項]

- 「涼峰」は果肉が軟らかく、高糖度で良食味な品種であるが、果実障害がやや多く、商品化率が低くなることもある。地産地消向きの観光果樹やもぎ取り園に適する品種である。また果実の耐寒性が弱く、施設栽培向きである。

- 2 「麗月」は果皮色、果肉色共に黄白な白ピワである。果肉が軟らかく、独特の甘味と風味があり、良食味な品種である。本県の主要品種よりも果実が小さく、市場向け品種としては導入が難しいが、「涼峰」と同様に観光果樹に適する品種である。
- 3 苗の入手方法は日本果樹種苗協会と許諾実施する種苗会社があり、そこから入手可能である。

[普及対象地域]  
県内のピワ栽培地域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 「涼峰」と「麗月」の樹の特性、果実品質及び収量

品 種 名	樹 姿	樹 勢	側軸 着生 方向	熟 期 (月・日)	果実の外観			収 量 (kg/樹)
					果皮 の 色	果実の 大 小 (g)	側面 の 形	
露地栽培								
涼峰	直立性	強	やや上	6. 2	橙黄	61	短卵	5. 5
房光(対照品種)	開張性	中	下	6. 9	橙黄	67	短卵	2. 9
涼風( " )	中間	中	やや上	6. 6	橙黄	62	短卵	5. 5
陽玉( " )	中間	やや強	やや上	6. 9	橙黄	58	短卵	4. 7
施設栽培								
涼峰	直立性	中	やや上	5. 8	橙黄	61	短卵	6. 6
麗月	直立性	強	やや上	5. 9	黄白	52	扁円	7. 9
房光(対照品種)	開張性	中	やや下	5. 17	橙黄	64	短卵	—
富房( " )	直立性	中	やや上	5. 22	橙黄	71	短卵	—

1999年～2004年の6年間の平均  
樹姿：開張性、中間、直立性      樹勢：弱、中、強  
側軸着生方向：下、中、上  
側面の形：扁円、円、短卵、短楕円、長卵、長楕円

表2 「涼峰」及び「麗月」の果実特性

品 種 名	果 肉			果 汁		果実の障害			果実の 耐寒性
	色	硬 度	食 味	糖 度 (Brix%)	酸 度 (g)	そば かす	裂果	紫斑	
露地栽培									
涼峰	橙黄	軟	良	13. 8	0. 13	中	軽	軽	やや弱
房光(対照品種)	橙黄	中	やや良	13. 3	0. 31	微	無	微	やや強
涼風( " )	橙横	やや軟	やや良	13. 9	0. 17	軽	微	微	中
陽玉( " )	橙横	軟	中	12. 5	0. 17	軽	微	微	中
施設栽培									
涼峰	橙黄	軟	良	12. 3	0. 13	中	微	軽	—
麗月	黄白	軟	良	14. 4	0. 12	微	無	無	—
房光(対照品種)	橙黄	やや軟	やや良	12. 3	0. 32	微	無	微	—
富房( " )	橙黄	やや軟	やや良	11. 2	0. 22	微	無	微	—

果肉の硬さ：軟、中、硬      食味：不良、中、良  
糖度：屈折糖度計示度      酸度：リンゴ酸量(g/100ml果汁)に換算  
そばかす、裂果、紫斑：無、微、軽、中、甚から判定  
果実の耐寒性：強、中、弱から判定

[発表及び関連文献]

- 平成8～16年度果樹系統適応性・特性検定試験成績検討会資料(常緑果樹)
- 平成13～16年度千葉県農業総合研究センター試験成績書

[その他]